

豊里学園コミュニティ・スクール推進会議

「Well-Being(一人ひとりが幸せな)豊里」を目指して、保護者、学校、地域、行政が協力し合いながら、社会全体で子供たちの育ちの場をつくっていく方法を話し合う「コミュニティ・スクール協議会」の本格導入(R6年度)に向けて、只今、準備を進めてきているところです。この1年間の「豊里学園CS推進会議」(準備会議)の取組をまとめました。

<CS推進会議の構成メンバー>
 地域の方8人 学識経験者1人
 PTA関係6人 関係行政職員2人
 学校職員9人 合計 26人



第1回推進会議(5月29日(月))

★熟議テーマ「どんな人に育ってほしいか」

はじめに、学園のグランドデザインについての共通理解を図った上で、各校のグランドデザインについて説明をし、「地域や学校での児童・生徒の様子」について情報交換をしました。出された情報をもとに「どんな人に育ってほしいか」についてグループ協議を行いました。「豊かな人間性が育つ里・豊里」が示すように、「素直」「明るい」「元気」な子供たちが、「思いやりのある人」「誰とでも仲良くできる人」「地域や人や物を大切にできる人」「感謝の気持ちを大切にできる優しい人」になってほしいという願いを共有しました。

第2回推進会議(9月12日(火))

★熟議テーマ「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは～地域の資源・人財・活動等の理解を通して子供たちの未来を考える～」

拡大模造紙にふせんを貼りながら、地域にある資源や人財の洗い出し、地域や保護者のできること、学校側が求めるサポート内容について確認しました。「コミュニティ・スクールを通して、学校として、保護者として、地域としてできることは何か」について、それぞれの立場から考えた建設的な意見が数多く出されました。「学校と地域が連携するのは特別なことではなく普通のこと」という意識を地域の方々に広げることが重要であり、その役目を担うのはコミュニティ・スクールの委員や学校であることを確認しました。

第3回推進会議(2月26日(月))開催予定

★熟議テーマ

「学園評価結果の報告と協議、地域から学校へ・学校から地域へできることを考える」(仮)

<1年間の振り返りと今後について>

☆「豊かな人間性が育つ里・豊里」で育つ子供たちのために、保護者や地域の方々と共に育ちの場をつくっていくこと、学校側のニーズに合わせて、地域にある資源や人財を可能なところから活用していくことを確認しました。

★「学校と地域が連携するのは特別なことではなく普通のこと」という意識を地域の方々に広げることが必要です。そのために、コミュニティ・スクールの委員や学校が積極的に情報を発信していくことで、保護者や地域の方々が気軽に来校し、子供たちの教育をそれぞれの立場から支援していけるようにしたいと考えています。

